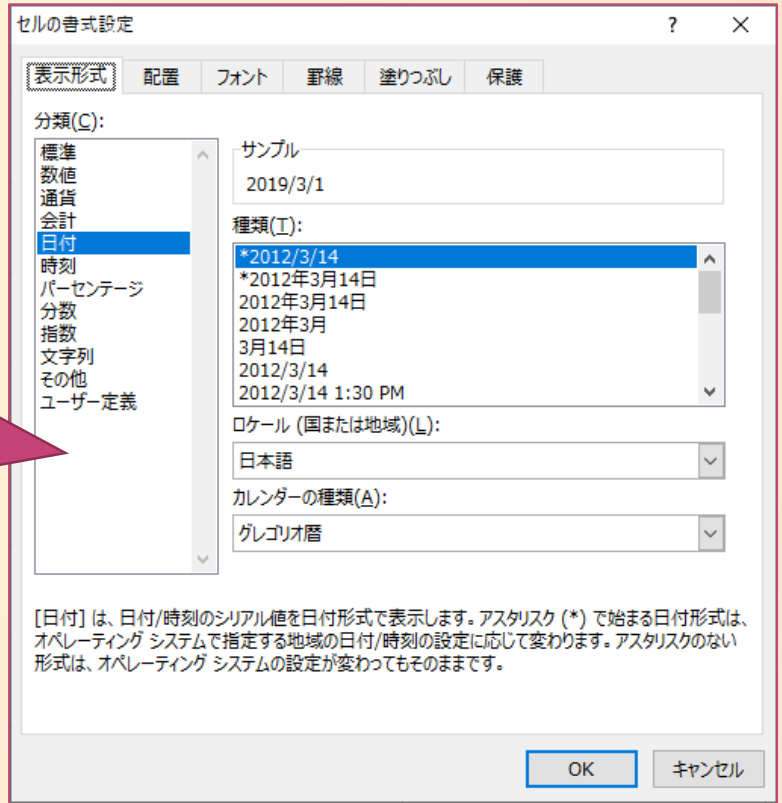
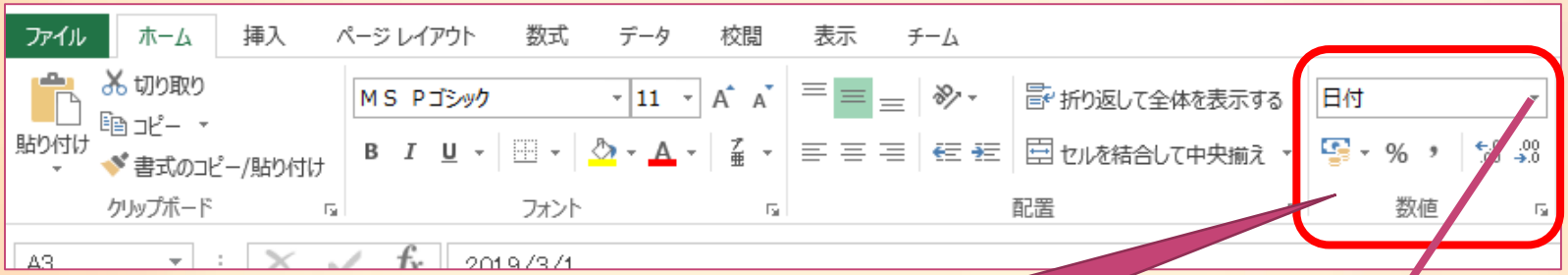
3. エクセルの基礎

セルの書式設定　【表示形式】

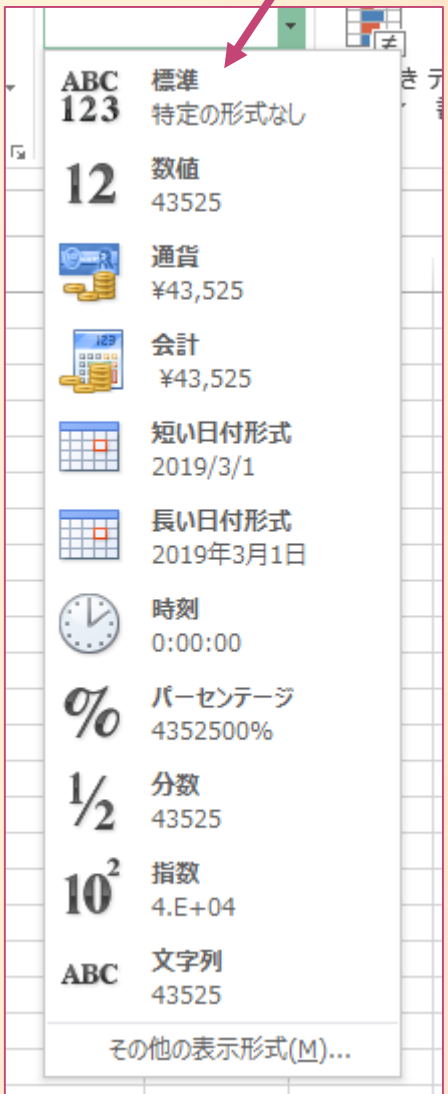
- セルに入力した文字列によって、数字、文字、日付、時刻などを判断、データ化し表示するようになっている。
- セルの表示形式を設定することによって、データの種類・表示形式を指定することができる。
  例えば、「10,200」(カンマで区切る)、「平成31年3月1日」「2019/3/1」(同じ日付でも表示形式が違う)

セルの上で右クリック、「セルの書式設定」を選択し、表示形式を選ぶ



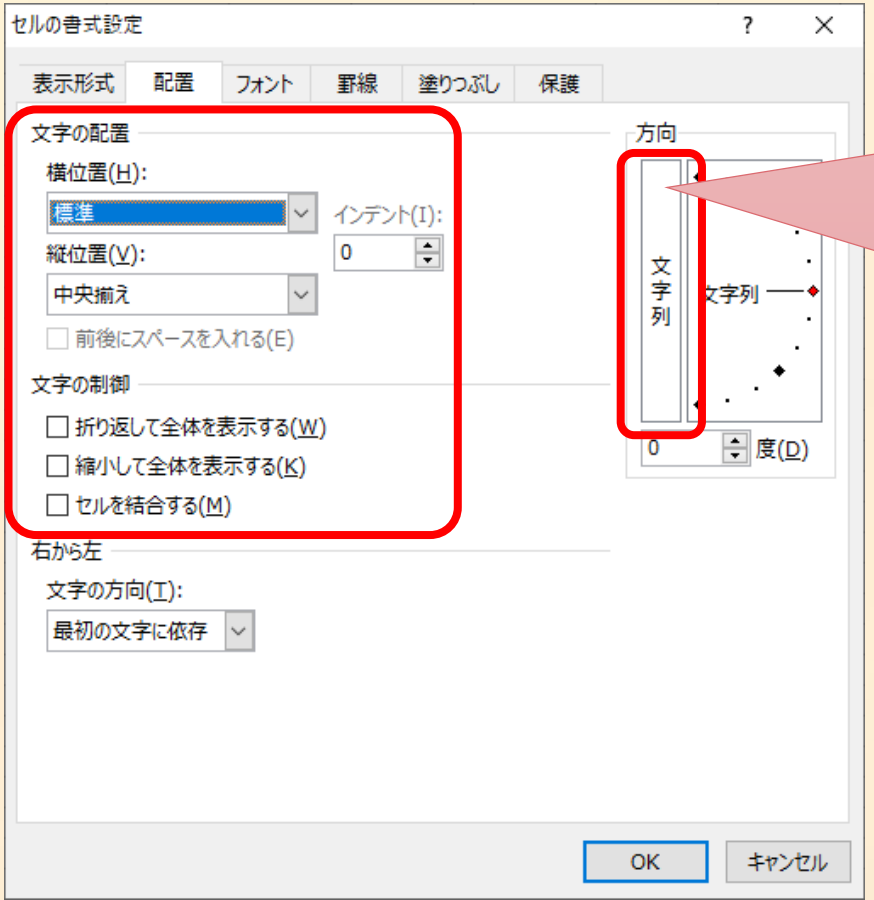


よく使われる表示形式はここからワンクリックで設定できる。
上の枠の右側の▼を押すと、更に選択肢が表示される。

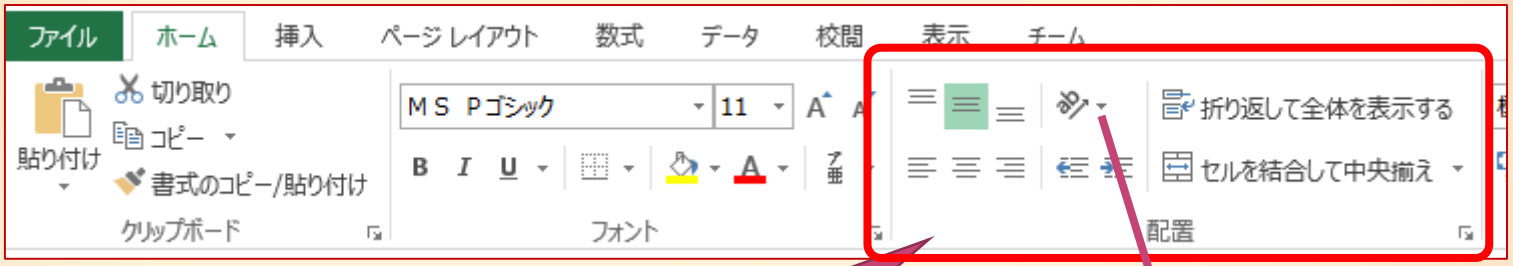


【配置】

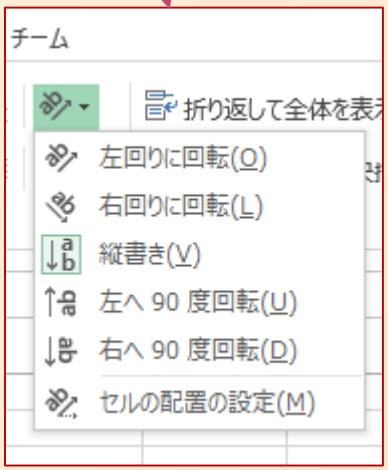
- 文字の配置を、必要に応じて中央揃え、左詰め、右詰などに変更
- 文字の制御として、折り返して全体を表示、縮小して全体を表示、セル結合を必要に応じて設定



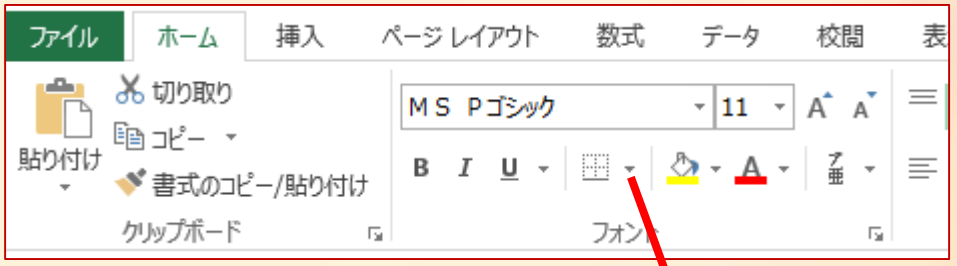
縦書きにしたいときはここを押す。



よく使われる配置はここからワンクリックで設定できる。
上の「方向」の右側の▼を押すと、更に選択肢が表示される。

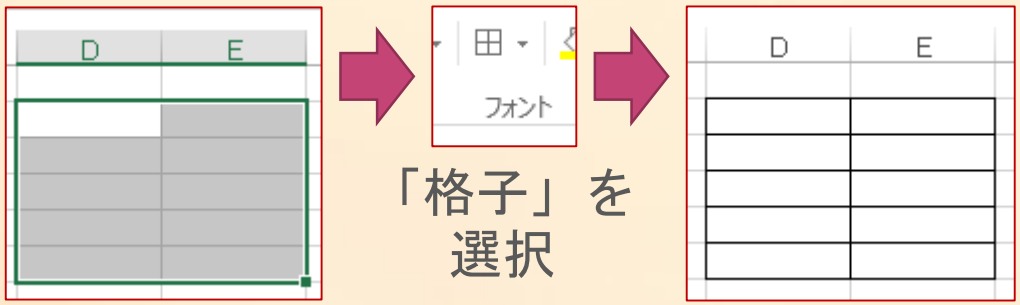


罫線



- セルの周りに罫線を引きたい場合、「ホーム」タブの「罫線」から罫線を設定する。
- この操作を行う前に、罫線を引きたいセルの範囲を選択しておく。
- 複雑な罫線を引く場合は、「セルの書式設定」→「罫線」から設定を行う。





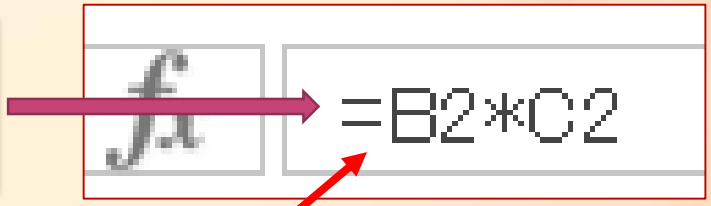
範囲選択

「格子」を選択

罫線設定

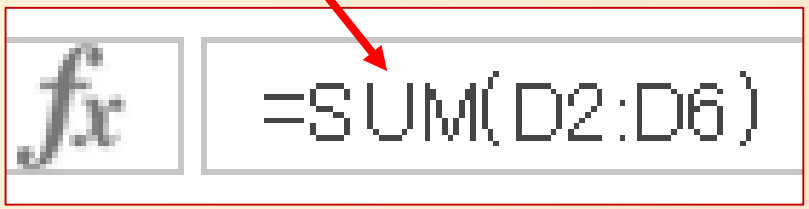
数式・関数の利用

セルに入力する際、先頭に「=」をつけると数式又は関数になる。



セルB2の数値とセルC2の数値をかける(乗算)

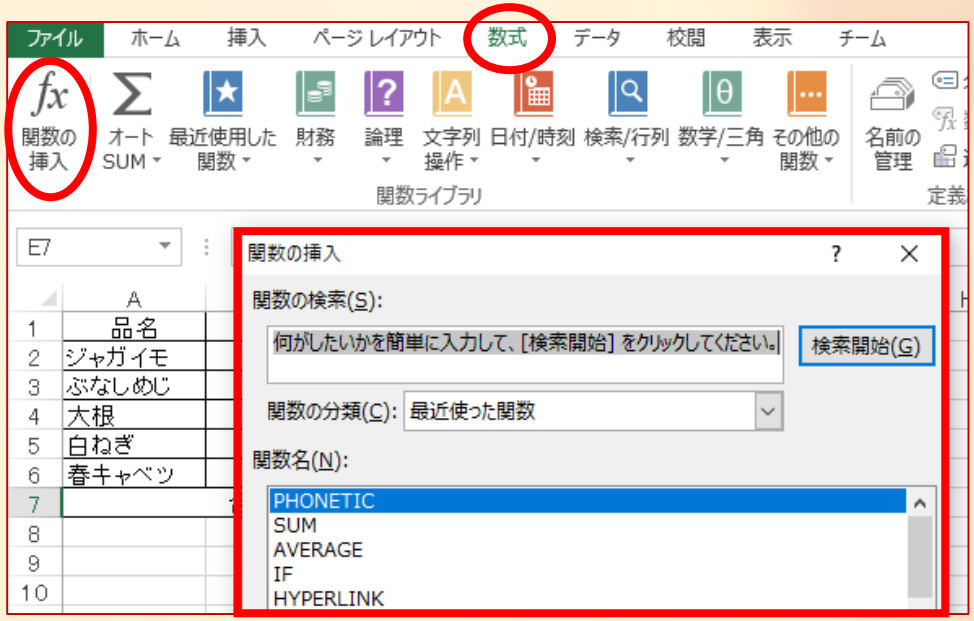
	A	B	C	D
1	品名	数量	単価	金額
2	ジャガイモ	3	24	72
3	ぶなしめじ	2	78	156
4	大根	2	98	196
5	白ねぎ	1	138	138
6	春キャベツ	1	178	178
7	合計			740



セルD2からセルD6までの数値を合計する

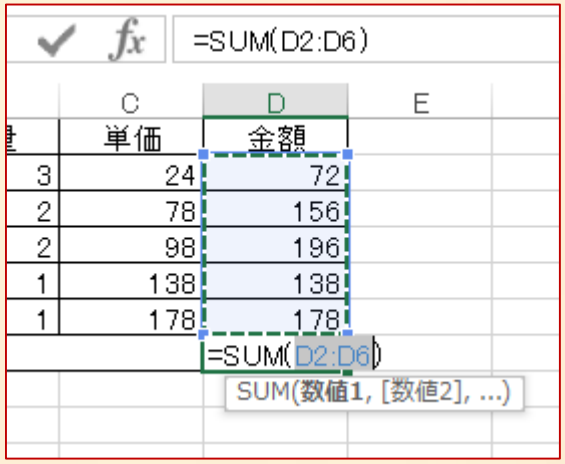
関数の挿入

一般的には、関数は「数式」タブの「関数の挿入」から行うが、「sum」関数の挿入はリボンメニューの「オートSUM」が便利





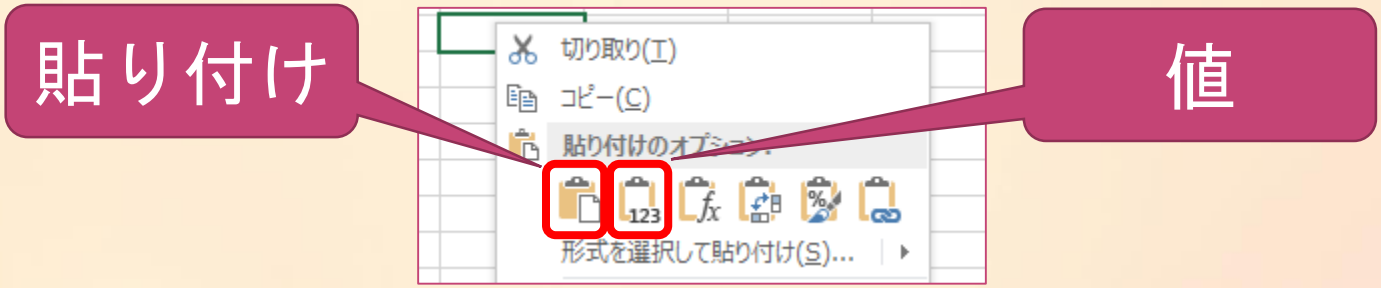
SUM関数を挿入したいセルを選択して「オートSUM」を押す



合計する範囲を自動的に認識して仮設定するので、これでよければ「Enter」キーを押して確定する。

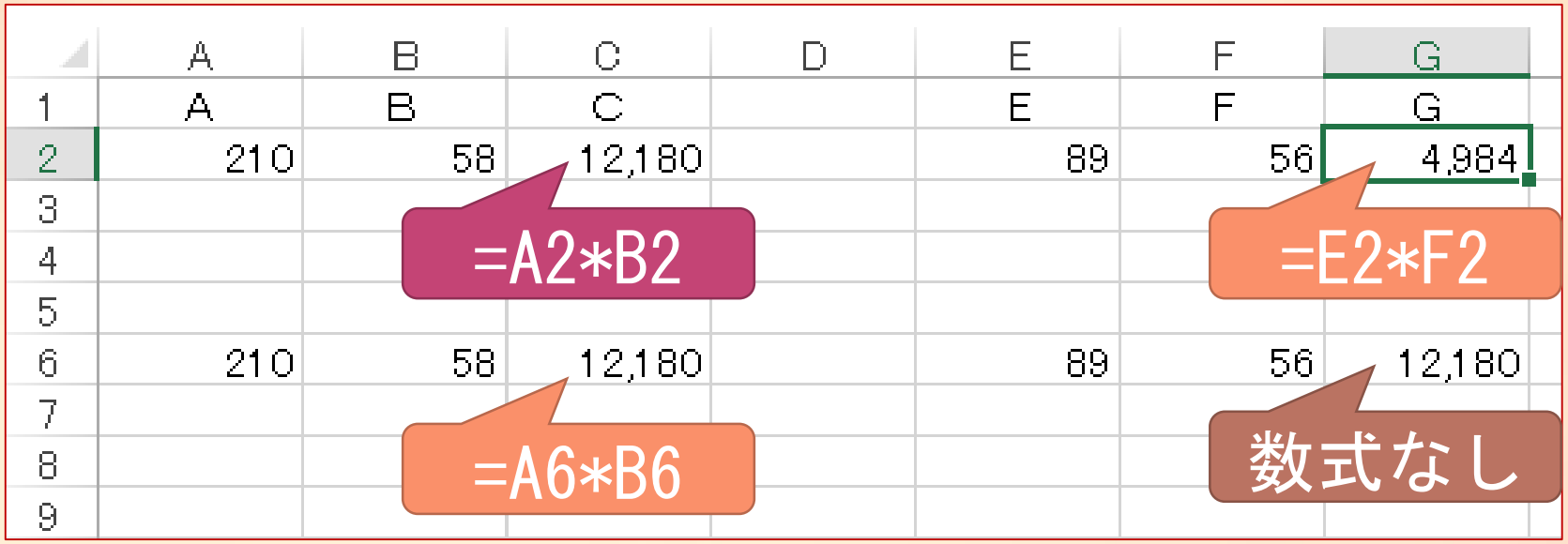
セルのコピー、貼り付け

- セルのデータを他のセルにコピーする場合、貼り付けオプションを適切に設定する必要がある。
- 通常の「貼り付け」では、データだけでなくセルの書式・関数もコピーされる。
- 貼り付けオプションで「値」を選ぶと、書式や関数はコピーされず、貼り付け元のセルに表示されているデータだけがコピーされる。



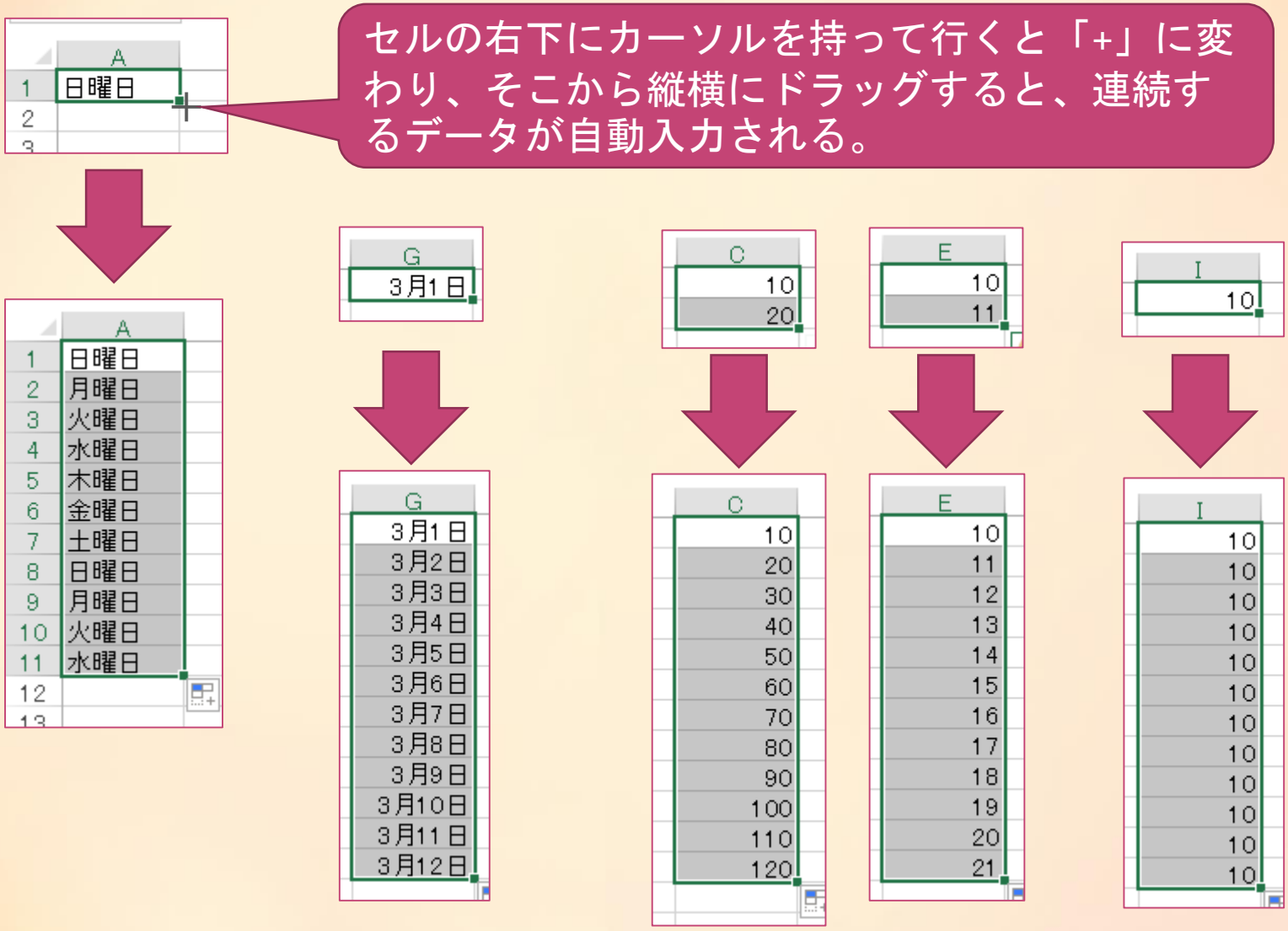
貼付けオプションの選択

数式・関数がある場合の通常の貼り付けと値の貼り付けの違い



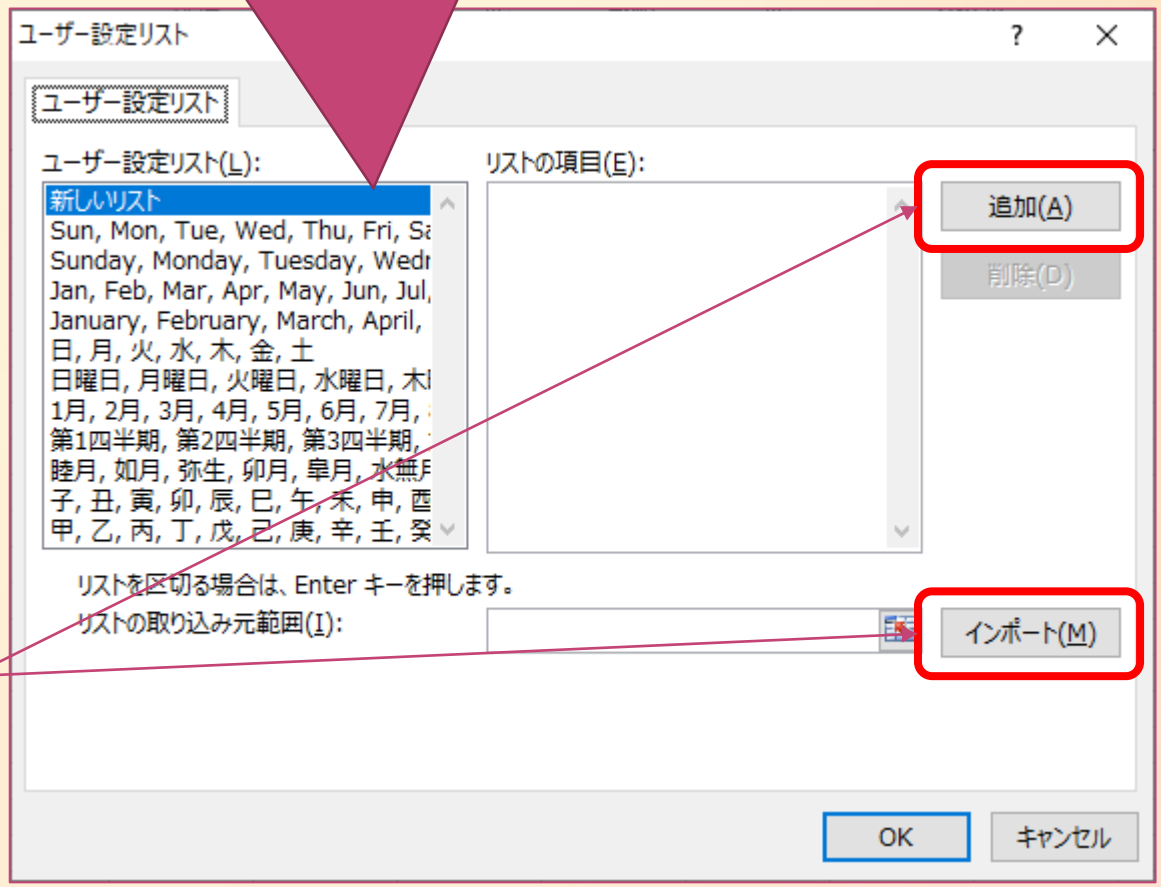
- Ｃ２からＧ２、Ｃ２からＣ６へは通常の貼り付け
  →数式の参照セルは自動的に変更される。
- Ｃ２からＧ６へは値の貼り付け
  →Ｃ２の値だけがコピーされる。

連続したデータを入力(オートフィル)



ファイル→オプション→詳細設定→「全般」から「ユーザー設定リストの編集」を開く

連続するデータを自動入力するリストはここで定義されている。

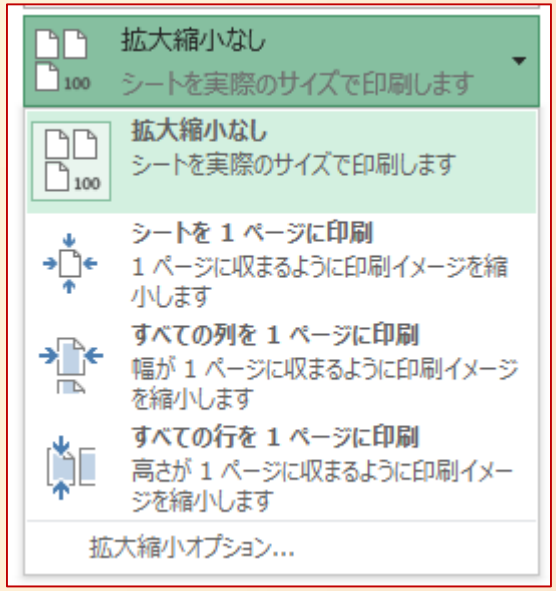


自分が設定したいストを追加することができる。

印刷【縮小】

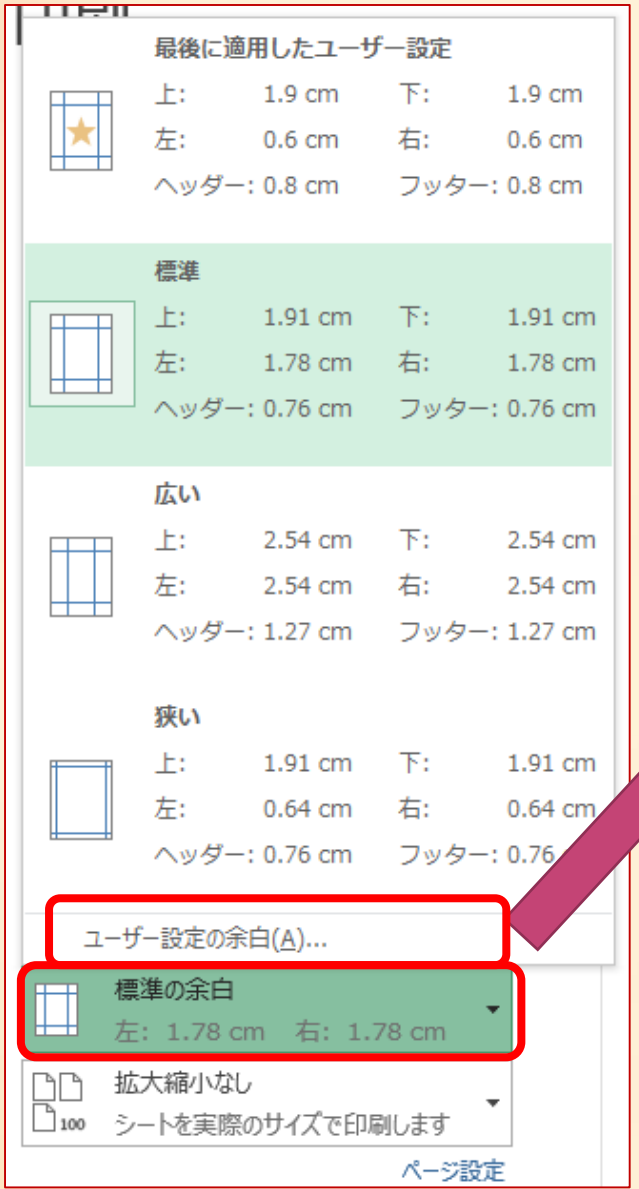
- 1ページに収まらない表を縮小して印刷することができる。

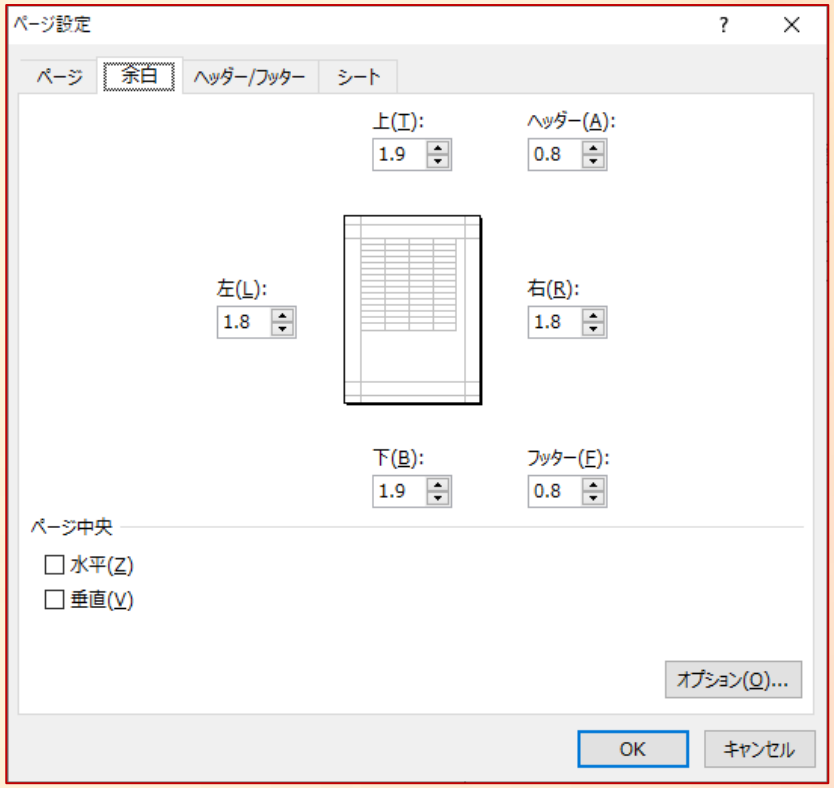




どのように縮小するかを選択

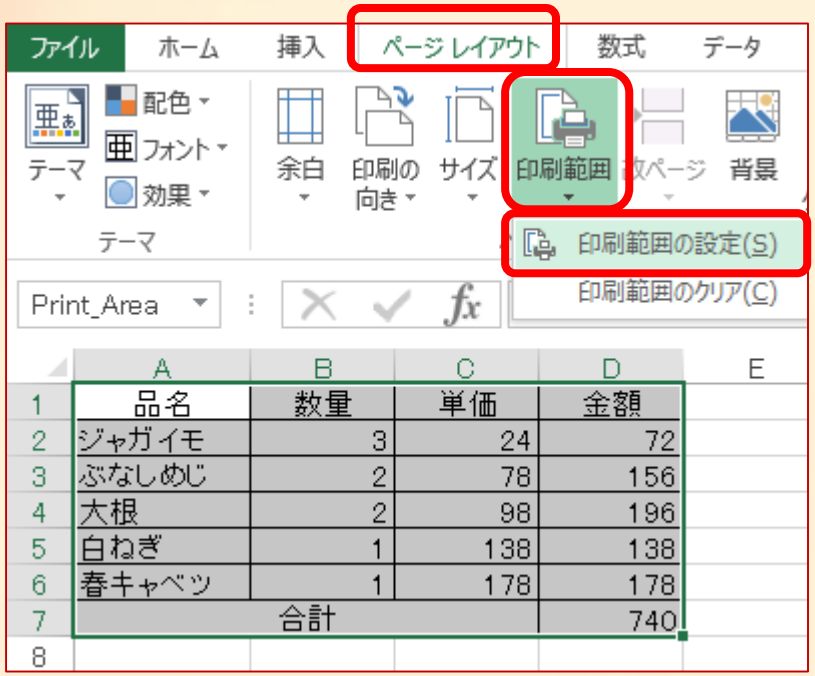
印刷【余白設定】



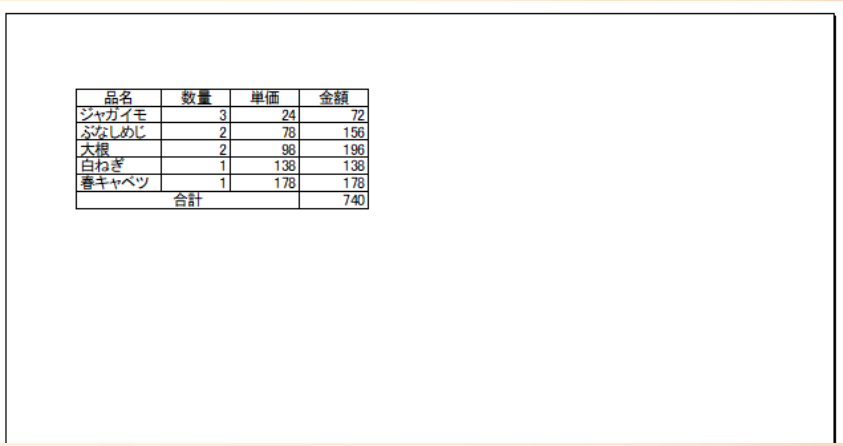


- 上下左右の余白を設定する。
- 必要に応じてページ中央への配置を選択する。

印刷【印刷範囲設定】



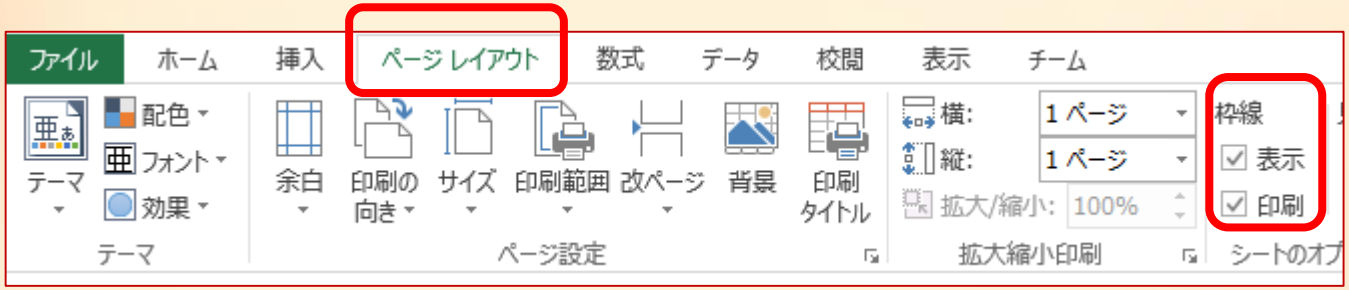
印刷する範囲を選択して、ページレイアウト→印刷範囲→印刷範囲の設定



品名	数量	単価	金額
ジャガイモ	3	24	72
ぶなしめじ	2	78	156
大根	2	98	196
白ねぎ	1	138	138
春キャベツ	1	178	178
合計			740

印刷設定した範囲だけが印刷される。

印刷【枠線を印刷】



ページレイアウト→枠線印刷にチェックを入れると枠線が印刷される。

編集画面

	A	B	C	D
1	品名	数量	単価	金額
2	ジャガイモ	3	24	72
3	ぶなしめじ	2	78	156
4	大根	2	98	196
5	白ねぎ	1	138	138
6	春キャベツ	1	178	178
7		合計		740
8				

印刷プレビュー

品名	数量	単価	金額
ジャガイモ	3	24	72
ぶなしめじ	2	78	156
大根	2	98	196
白ねぎ	1	138	138
春キャベツ	1	178	178
合計			740

罫線を引いていなくても、枠線が印刷される。